

(一社) 富山県作業療法士会 新入会員各位

県士会 部・委員会への所属に関するお願い

(一社) 富山県作業療法士会は、定款第3条に基づき、会員の皆さんに、部または委員会（別紙の組織図を参照）へ所属いただき、研修・教育・広報・普及活動などの事業を行っています。

なお、定款第39条・第41条に基づき、事業へ参画する会員へは、当会の定める日当・交通費等の支給があります（定款等に関しましては、下記の二次元バーコードよりご確認ください）。

そこで、今年度入会いただく方においても、各部署への所属をお願いいたします。ただし、所属先については、みなさまの希望をふまえながら、円滑な県士会事業運営を考慮し、当会理事会にて検討決定をいたしますので、ご了承いただきたく存じます。

つきましては、みなさまには以下の3点を行っていただいた上で、希望の所属先を3つ選択していただけますようお願いをいたします。

- ① 各部・委員会の紹介文をお読みください
- ② ラインオープンチャットにご参加ください（各部署の活動が投稿されます ※を参照）
- ③ チャットの投稿を見て興味ややりがいを感じたコトにご参加ください（3つほど）

※ ラインオープンチャットの主な投稿

各部会・委員会が企画運営を行う研修会の案内

各部会・委員会の会議の案内

各部会・委員会の勉強会の案内

各部会・委員会が協力するイベントの案内

富山県作業療法学会の案内

ラインアプリを活用されていない方は、この機会にアプリをインストールして下さいませよう、お願いいたします。チャットへの参加は下記の二次元バーコードよりお願いいたします。

希望の部・委員会の選択は、下記の二次元バーコードから入力フォームに入り、3つ選択していただきます。運営の都合で会員を募集しない部署もあります。あらかじめご了承ください。

選択の締め切りはR8年3月上旬です。随時、ラインオープンチャット上で案内をいたします。

所属先の決定は来年度の総会までに行われます。決定後、配属の部会長・委員長から、入会登録されたメールアドレスへ連絡が入ります。

ラインオープンチャットへの参加期間は来年度の総会までとなります。

【ラインオープンチャット 二次元バーコード】

【部・委員会選択 二次元バーコード】



参加手順

1. 二次元バーコードを読み取る
2. 半角英数字 2025new の参加コードを入力する
3. ニックネーム（氏名や所属は不要）をつける

ラインオープンチャットでの
投稿情報などを参考にして、
R 8年3月上旬までに選定（3つ）

【県士会 HP 二次元バーコード】



定款や組織図などご確認ください。
HPからの問い合わせも可能です。

【問い合わせ先】

理事 桐山 由利子 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
TEL 076-438-2233（代表）

以上

部会・委員会 紹介

1. 教育局

生涯教育部

かみいち総合病院 森 進之介 氏

生涯教育部では、日本作業療法士協会の生涯学修制度（2025年4月から新たにスタート）に基づいて、作業療法士の質を担保するために研修運営と情報発信を行なっています。学ぶ姿勢や企画・運営等の研鑽ができる場として共に活動していきたいと思っています。皆さんの参加をお待ちしております。

2. 学術局

身体障害部会

真生会富山病院 角畑智彬 氏

身体障害部会には、医療、介護、教育など様々な分野で活躍する作業療法士が数多く在籍しています。

主な活動としては、年に一度、会員向けに研修会を開催しています。テーマとしては、皆さんが日頃関心を持っている事や、必要としている事、苦手としている事を取り上げています。

もっともっと勉強してレベルアップを図りたい！そんなあなたの入会を是非お待ちしております。

高齢者支援部会

富山西リハビリテーション病院 岡田 有由 氏

「高齢者支援部会」は以前の学術局の Activity 部会、同じく障害老人部会、制度対策部の認知症作業療法委員会が合併した部会となります。

主な活動としては研修会の開催となりますが、部会・委員会それぞれの特色を活かしつつ、新たな企画・運営、また部員同士の交流をはかっていきたいと考えています。

是非、参加をお待ちしております。

精神障害部会

川田病院 磯部美和子 氏

精神障害部会では年1回の研修会と、年に数回の勉強会を実施しています。

研修会では、部員が興味・関心をもっているテーマや講師を決め、よりよい企画となるようみんなで協力して準備・運営を行っています。

勉強会では、各施設の紹介や見学を行ったり、困っている事などについて話し合ったりし、情報交換や部員同士の交流の場として活用しています。

精神分野で働く作業療法士はまだまだ少なく、部員も少ないので、みんなの顔を覚えやすく、話し合いやすい場であると思いますので、ぜひ皆さんの参加をお待ちしております。

発達部会

児童発達支援センター つくし学園 館 理歌 氏

発達障害部会では、学校生活支援事業として、訪問依頼があった県内小・中学校に出向き（年10回程度）個別ケースへの支援や研修会講師を行っています。個別ケースへの訪問後は、部会内で事例検討会を行い、意見交換・知識を深めています。また、年一回特別支援教育に関する研修会を企画・開催し、作業療法士と教育関係者及び保育士など様々な職種の方と連携を図っています。今後は検診への作業療法士の参画に向けて、地域行政への働きかけも行っていきます。

発達に興味がある方の参加をお待ちしています。

基礎医学部会

富山大学附属病院 岡田 和代氏

当部会では、部員たちが学びたいテーマをあげ、年に1回の研修会と研修会企画運営のための準備会議に併せて関連テーマに関する勉強会を行っています。

日頃の疑問・困ったことなど気軽に話し合える場にもしたいと思っています。興味のある方、参加をお待ちしています。

3. 事業局

普及指導事業部

みしま野苑一穂 稲田 繭子 氏

普及指導事業部では、様々な事業を行い作業療法の普及を行っています。「作業療法士体験会」では高校生に対して作業療法の説明と体験を通して作業療法士の魅力を伝えています。

作業療法とは何をする仕事か、作業療法士とは何をする人か、専門領域を問わず広い視点で捉えていきたいと考えています。より多くの方々に作業療法を知って頂けるよう、ユニークに紹介するアイデアを一緒に考えていきましょう。

部員一同、多数の新人の皆様の参加をお待ちしております。

4. 生活支援推進局

MTDLP推進委員会

アルペンリハビリテーション病院 山本 皓太 氏

MTDLP 推進委員会では、MTDLP 基礎研修や MTDLP 事例検討会の企画運営をし、MTDLP についての学びの場、部員間での情報交換を行っています。現在部員数は少ないですが、若手が多く話しやすい現場となっております。新入会員の皆様の力が必要ですので、是非入会をお待ちしております。

生活作業療法委員会

公立南砺中央病院 福田 恵津子

当委員会は地域で活躍する作業療法士を育成・支援する委員会です。この委員会では、高齢者だけではなく、生きづらさを抱える障害者や子どもを含め地域で暮らす全ての人が自分らしい生き方や暮らしを人生の最期まで続けることが出来るように支援することを目指しています。

具体的には、介護予防教室や地域ケア会議、家族介護支援や集いの場支援などの地域支援活動に関する情報交換会や勉強会、新川・富山・高岡・砺波の各地区単位での意見交換会を開催しています。また県士会 HP を活用して皆さんから地域支援事業に関する実績報告をお寄せいただき、実情の把握や資料の公開などを行い、情報共有に努めています。

私たち OT ならではの視点で、子どもから高齢者まで、体の事から心の事まで、保健・福祉や医療・介護まで、予防期から終末期まで、病院・施設から在宅・地域まで、幅広く共に学び、考え、動いてみませんか。

福祉用具支援事業委員会

特別養護老人ホームつまま園 浜出 都 氏

福祉用具支援事業委員会では、臨床での課題を解決する方法の一つとして、福祉用具や自助具の使用、そして環境の工夫を提案しています。これらの使用や選択には技術が求められるため、県士会員の技術の向上を目的に、以下の3つの活動をしています。

① 福祉用具支援システム

OT 協会の WEB システムを通して、福祉用具に関する疑問などを相談する窓口です。問題解決に向け、委員のアドバイザーと共に問題解決を図ります。

② 生活行為工夫情報

OT 協会の WEB システムを通して、道具の工夫・活用・作成している事例を収集し、情報共有していく活動です。県内外の OT の工夫事例の閲覧や、自分の事例の登録が可能です。

③ OT 福祉用具ネットワーク富山

LINE やオープンチャットを用いた県士会独自の投稿サイトです。参加者は投稿や情報共有を気軽に行え、福祉用具や自助具に関する質問や助言のやりとりも可能です。

委員会の打ち合わせは、主に ZOOM 会議や LINE を利用しています。柔軟な発想をお持ちの方や、福祉用具、自助具、生活の工夫に興味のある方のご参加をお待ちしております。

運転と作業療法委員会

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 佐々木 舞 氏

当委員会は、1. 移動支援関係者（公安委員会、自動車教習所、行政等）に作業療法士という職種を知ってもらう、2. 県内の作業療法士が移動支援を行いやすい体制を作る、3. 県内の作業療法士が移動支援に関する知識を得る機会を作ることを目的として活動しています。活動内容として、①作業療法士向けパンフレットの作成『初めての運転再開支援～富山県の作業療法士に向けて～』、②自動車教習所との連携：『病院 - 教習所間連携シート』の作成、③年に1回の研修会の計画・開催 をしています。

「移動を支援する」という観点では、高齢者を取り巻く環境や考え方、変化し続ける制度、地域性、施設の実情、対象者の特性を踏まえ、委員皆で課題解決に向けて情報共有、意見交換を行っていきたいと考えています。移動支援に関心・興味のある方、是非参加をお待ちしております。

5. 事務局

総務部

介護老人保健施設なごみ苑 山西 友紀子 氏

総務部は富山県作業療法士会の事務作業を担っています。事務作業のみでは魅力がないので他の部会と兼務することも可能であり知識を深めながら活動することが可能です。

事業としては

- ① 総会の開催に関わる事業（案内や総会資料の発送や総会開催の準備）
- ② 日本作業療法士協会や富山県をはじめ各種団体からの依頼や刊行物を集約し会員に発信する
- ③ 全会員の所属等把握のため名簿作成と管理（PCでの作業） 等々

活動は年間を通じて行う業務もあれば年1～3回ぐらいのものもあります。これらの業務はそれぞれ担当制なので一人で全部するわけではありません。県士会員が活動しやすく色々な情報が得られるように縁の下の力持ちといった役割を担っています。

広報部

栗山病院 出戸 浩平 氏

広報部は、年3回の広報誌「県士会ニュース」と壁新聞「きつときと」の発行を地区担当で行います。部会集会は、年3回程度で、原稿の内容決めと依頼の仕事をしていただきます。

「県士会ニュース」は、県士会員向けに、県士会ならびに協会事業等の活動内容を幅広く情報発信する広報誌です。

「きつときと」は、一般・地域向けに、地域の病院・施設などの利用者やその家族を対象とした新聞です。生活に役立つ自助具の紹介や障害をお持ちの方やまたそのご家族が社会参加をしていくための手助けとなる情報を掲載しています。

部員は、急性期・回復期・維持期の病院や訪問サービス、老人保健施設、精神科病院などに勤めており様々な情報交換も行っています。また、研修会や、県士会その他の情報など早く入手できます。皆様のご参加をお待ちしております。

福利厚生部

みしま野苑一穂 濱谷 有希 氏

福利厚生部は、県士会員同士の親睦や交流を目的とし、福利事業の企画・運営を行っています。具体的には、新人歓迎会の企画運営や、ほたるいかマラソンでの給水ボランティア参加などです。若手からベテランまで年代を超えて交流を図りながら、貴重な情報交換や仲間づくりの場となるよう努めています。また、新規事業も開拓中です。皆さんの入会お待ちしております。

システム対策部

富山城南病院 塚田 大紀 氏

システム対策部では、県士会ホームページ、メーリングリストの管理業務を行っています。また、今は活動が少ないのですが、県学会や県士会活動における、インターネットやICTを使ったシステムの構築や協力を行っていくことを想定して組織されています。今後、このような分野に興味や知識のある方はご協力いただければありがたいと考えおり、部員募集等お声掛けすることがあるかもしれませんので、よろしくお願いいたします。

6. リハビリ専門職普及支援室

災害リハビリテーション委員会

アルカディア氷見 高林 一彦 氏

災害リハビリテーション委員会は、毎年のように発生する大規模災害に対応するべく会員の意識向上を図り、作業療法士として県内外の有事の際にどう動くかを考えていく委員会です。これからの担う若い力を必要としています。是非、参加をお願いいたします。

主な活動内容)

- ①県士会員の災害時「安否・被害状況」連絡訓練の実施。
- ②会員の防災意識及び知識の向上を目的とし、県士会内での研修会の開催を企画。
- ③富山 JRAT（医師、PT・OT・ST・介護支援専門員の団体で構成）に参加協力。

この団体は、東日本大震災をきっかけに発足した JRAT（一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会）の富山県支部団体です。

訪問リハビリテーション委員会

医療法人社団秋桜 丸川病院 四十物里恵子 氏

当委員会は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3士会で運営しています。活動内容は、日本訪問リハビリテーション振興財団主催の地域リーダー会議への出席（年1回）、都道府県士会での研修会開催（年間10時間）、医療・介護・福祉政策への職能団体としての提言等を行っています。

各医療圏域内より1名以上ずつメンバーを募っております。訪問リハビリテーションに従事されている方や、ご興味のある方、是非ともご参加下さい。